

取扱説明書

コントロールユニット

このたびは当社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
お求めの製品を正しく安全にご利用いただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み
いただきますようお願いいたします。

1 ゴム製フレキシブル継手 2 ゴム製可とう伸縮継手 3 フッ素樹脂製フレキシブル継手

- BPタイプ(バックプレート) ■BPタイプ(バックプレート) ■BPタイプ(バックプレート)
- Wタイプ(溶接)一部製品を除く ■溶断・Wタイプ(溶接)* ■Uタイプ(新型溶接)*
- Uタイプ(新型溶接)一部製品を除く ■Uタイプ(新型溶接)*

*据付用のコントロールユニットにおいてシッピングボルトの役割(面間寸法の調整)を兼ねることも可能(一部製品仕
様は異なります)です。配管取付後はシッピングボルトを外してください。推力防止用のコントロールユニットとは
異なります。

防振を目的として使用する場合には、サイズ等によってゴムブッシュを付属することも可能です。

この取扱説明書は工事終了後、保守点検管理ご担当者へ必ずお渡しください。なお、当社製品に関
するお取扱い上のご質問・ご相談などがございましたら、最寄りの事業所までお問い合わせください。
※当取扱説明書は、予告なく内容を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

株式会社 TOZEN

東日本事業所：TEL 03(6833)2091(代) FAX 03(6833)2088

西日本事業所：TEL 06(6578)0310(代) FAX 06(6578)0312

URL <http://www.tozen.com/> Email sales@tc.tozen.com

BPタイプ (バックプレート)

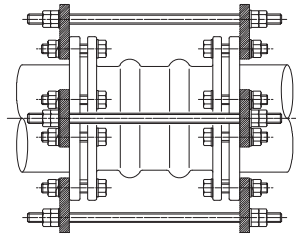
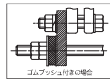
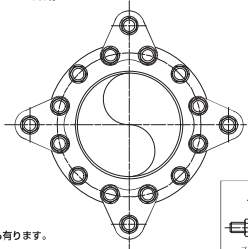
相手配管のフランジボルト穴を利用した
三角プレートタイプ

使用可能製品

1 2 3

- 【付属品】
- ・三角プレート
 - ・長ボルト
 - ・ナット
 - ・平座金
 - ・ゴムブッシュ(※)

※用途等により付属しない場合も有ります。

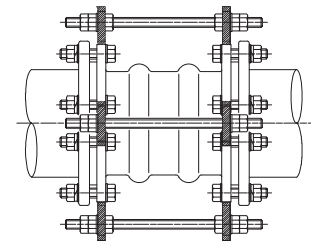
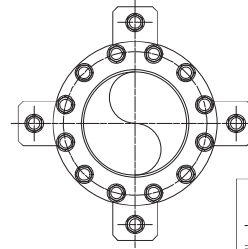


Wタイプ (溶接)

製品フランジにプレートを直接溶接した
タイプです。

使用可能製品

1 2

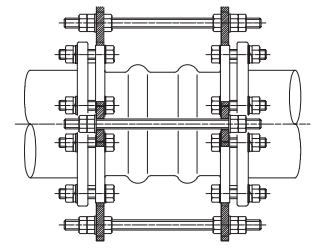
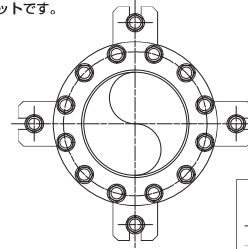


Uタイプ (新型溶接)

狭いスペースでも施工が簡単で、脱着が
容易なコントロールユニットです。

使用可能製品

1 2

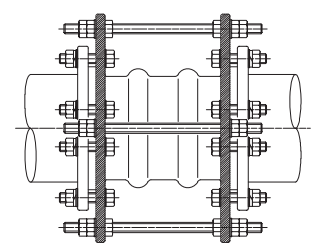
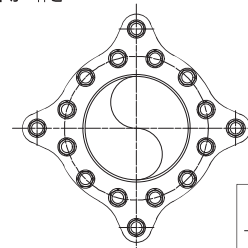


溶断タイプ

製品のフランジにプレートが一体と
なっているタイプです。

使用可能製品

2



■ BPタイプ (バックプレート) 図1 1 2 3 共通

1. 【取付け方法】

1-1) 継手本体を相手側フランジにB:バックプレートを取付ける部分以外のボルト穴を使用して、F・G・H・Iで仮止めします。

1-2) B:バックプレートを対角に相手側配管のフランジ外側にF・G・H・Iで仮止めします。

1-3) 仮止めしたF:フランジ接続用ボルト、G:フランジ接続用ナットを対角に規定の締代残まで均等に締付けます。

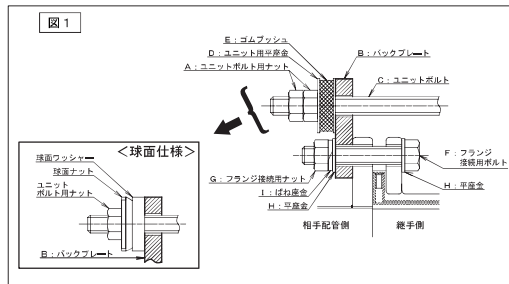
1-4) C:ユニットボルトをB:バックプレートに図1を参考にセットします。なお、E:ゴムブッシュが付属の場合には一緒に取付けます。

2. 【面間調整】

2-1) 面間調整が不要な場合、配管施工後A:ユニットボルト用ナットからB:バックプレートまで緩みがないよう締め込んでください。

※球面仕様はナット、球面ナット、球面ワッシャーにて構成されます。(A:部)

2-2) 配管の伸縮を吸収したい場合、伸びの場合はA:ユニットボルト用ナットからB:バックプレートまでの隙間を+Xmm(※1)確保してください。なお、縮み方向の場合のみは2-1と同様としてください。



※F・G・H・Iはお客様手記となります。(製品には含まれておりません)

(※1) X=(取付面間-製品規定面間)-製品許容伸縮量

■ 溶断・溶接・新型溶接タイプ 図2 1 2 共通

1. 【取付け方法】

1-1) 継手本体を相手側フランジにF・G・H・Iで仮止めします。

1-2) 継手の面間と相手配管との距離が長い、もしくは短くフレキが取付けられない場合、BまたはEにて面間の調整をします。その際、フレキの許容変位量を超える調整は不具合が生じる要因となりますので許容変位量内での調整としてください。

1-3) 仮止めしたF:フランジ接続用ボルト、G:フランジ接続用ナットを対角に規定の締代残まで均等に締付けます。

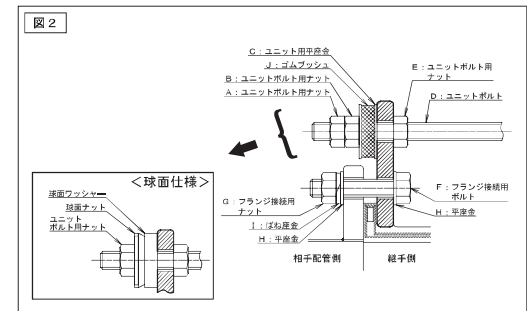
1-4) 締付け完了後、1-2の作業が発生した場合にはA・Bを取外すまたはEを緩め、順にC・B・Aを取付けます。なお、J:ゴムブッシュが付属の場合には一緒に取付けます。

2. 【面間調整】

2-1) 伸び止めの場合は配管施工後、Eはフランジより5mm以上緩めてください。A・B・Cは緩みがないよう締め込んでください。

※球面仕様は球面ナット、球面ワッシャーにて構成されます。(A:部)

2-2) 配管の伸縮を吸収したい場合、伸びの場合はB:ナットからフランジまでの隙間を+Xmm(※1)確保してください。



※F・G・H・Iはお客様手記となります。(製品には含まれておりません)

(※1) X=(取付面間-製品規定面間)-製品許容伸縮量

<バックプレート取り付け要領>

